



スキー協通信

No.343

発行

2012.10.1

発行責任者・小川 洋

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03(3971)4144
ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org

全国スキー協主催

2012 サマーセミナー in 菅平 レポート

参加できなかった方は必見です



←天狗池より槍ヶ岳を望む

↑立山をめざして

↓天狗原から西岳方面を望む

写真提供：こなゆき・田畑さん/高橋さん

目次

2012 サマーセミナー in 菅平レポート	2-5 頁
第20回クラブ交流平和駅伝案内	6 頁
information	7 頁
10・11月のカレンダー	8 頁

8月25、26日の両日、全国スキー協主催のサマーセミナーが長野県の菅平高原で開催された。今回のテーマは「スノースポーツの未来を考えよう」。スキー協内外の活動・取り組みに学び、スノースポーツの未来のために私たちに何ができるのか探っていこうというのが狙い。

1. 基調講演「スポーツ連盟の活動に学ぼう！」

基調講演は新日本スポーツ連盟会長の永井博さんが「スポーツ連盟の活動に学ぼう！」をテーマに行った。スポーツ連盟は今年29回目の全国スポーツ祭典を開催するが、第2回、12回、13回のスローガンは3大スローガンと呼ばれ、スポーツ連盟の活動の根本になるというお話から始まった。3大スローガンとは、「いつでも、どこでも、だれもがスポーツを」（第2回）、「スポーツきみが主人公」（第3回）、「スポーツは平和とともに」（第13回）の3つ。これらは、日本国憲法の基本原理である、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義と共通するものであるとその重要性を述べた。

● 5年で33%の会員増 - 全国卓球協前進の秘密とは？

全国卓球協の前進を生んだ取り組みとして、「ペアマッチ」などの魅力ある競技大会を行ってきた事、全国大会の規模拡大のため、卓球協の組織がない県には「出前大会」という方式で予選会を開いていった事がある。かつて主流だった「4単1複のトーナメント戦、3点先取」が「勝者を選抜する」ことを目的にしたことに対し、「ペアマッチ」のリーグ戦方式は、選手だれもが数多くの試合を経験し、同一のレベルで各自の能力を大いに発揮できる競技方式だ。フランスのFSGTではこの報告を聞いて「ペアマッチ」を「敗者をつくらぬ競技」と特徴づけた。この取り組みは、「選手が主人公」の競技理念への転換として歴史的なことだった。既存の卓球界にも影響を与え、今ではトーナメント戦だけの大会はほとんど姿を消しているという。

● 8年で8倍に前進した全国ウォーキング協議会

もうひとつ、大きな前進をしている組織として全国ウォーキング協議会が紹介された。幅広い人を組織していることが特徴だ。ウォーキングがスポーツをする者にとって入口であり出口でもあると言われる。魅力あふれる活動作りとして、「山」「里山道」「史跡」「海」「花」などのテーマに沿ったウォーキングが企画され、参加者を非日常空間へと運んでいくという。この2つの組織の特徴として、運営の中心に女性の力があることを永井会長は語った。スキーはクラブ活動にいかにつ加価値を付けるかが大切であるという言葉で、講演を結んだ。



2. パネルディスカッション「スノースポーツの未来を考えよう」

サマーセミナーのテーマと同じテーマを掲げたパネルディスカッションには、4名の方がパネリストとして登場した。

● 「雪マジ！19」でわかってきたこと

一人目は、昨シーズンから各地のスキー場で取り組まれている「雪マジ！19」の企画・実施をして

いる(株)リクルートじゃらんリサーチセンターの研究者加藤史子さん。「雪マジ! 19」は、1993年をピークに、今ではその1/3に減少したスキー場来場者を増やす方策として、「エントリー年代の中でスノースポーツを始める人数を増やす」戦略として取り組まれている。エントリー世代を19歳とし、「19歳でスノースポーツが上達してハマる」状態を作り出すために、このプロジェクトに参加しているスキー場は、19歳を対象に何回でもリフト無料の特典を提供している。現在のスキー場来場者は、アラフォー世代が最多数層。今後、初心者開拓をしていくことが課題である。登録者インターネットアンケートで特徴的なのは、87.6%がスノーボードをやったことがある、96.4%が、有料でも来冬も是非行きたいと回答していること。アンケートでトップボックスにこれだけ(96.4%)集中するのは珍しいという。

● スキー場経営者の取り組みに学ぶ

二人目は、アスモグループ社長の今孝志さん。同社はきそふくしまスキー場と開田高原マイアスキー場を経営。今社長はマイアスキースクールの校長でもあり、スキー場経営をコロラドマウンテンカレッジで学んだ。日本のスキー場数は最高時756か所で、現在は570か所。世界の1/4の数が日本に。昭和26年(1951年)の池の平がスキーリフトの最初で、1972年、1988年は、1年に29か所のスキー場が作られた。スキー場の現状は、最高時の30%の入場ではリニューアルする予算がない、従って新しいリフトがない。また最近の風潮としてスキー場のある田舎まで行くのが不便・面倒くさい、ということがありそうだ。スキーは、陸上競技などと異なり、一般にその結果が数字に表れないため、価値観が見いだせないのではと話す。スキーをすることが健康に及ぼす影響を数値化できたら、と語る。

● プロスノーボーダーは語る

三人目、四人目はプロスノーボーダーの阿部貴文さん(23歳・プロ5年目)と、その後輩にあたる同じくプロスノーボーダーの滝沢光さん。二人はソチオリンピックで正式種目になると見られる、スロープスタイルの選手。スロープスタイルは、斜面上のコースに作られた複数のジャンプ台と階段(レール)をいかにカッコよく降りてくるかを競う採点競技。二人とも子どものころはスキーをやっていた。滝沢さんは、アルペンスキーをやっていたが小学生のときにいやになり、カッコいいと思いスノーボードを始めた。夏場は、アルバイトをしながら走り込みやウエイトトレーニングをしている。

----- 若年層をひきつける方策・努力について -----

加藤:人口減少率が2~3%、「今の若者は・・・」的なステレオタイプの発想をしない事が大切。

今:寒いスキー場なので氷が張る様にしてカーリングをやるようにしている。スノースポーツをどうしたら「楽しい」と思ってもらえるかが課題。スキースクールでは楽しさを教える、昼食時も子どもを預かるスキースクールで情操教育にもチャレンジしている。スノーボードの無料レッスンの受講者が最近ほとんどいない。

加藤:「雪マジ! 19」では、初心者が増えた。彼らはマナーを知らない。マナーを教えるのもスキー場の仕事。ファミリースキー需要は、あと6年でなくなる。リフト無料政策をやっても、楽しい経験がないと結局は成功しない。

— スノーボードに話題が移り、「スノーボードの楽しさの寿命は?」という問題提起に、「最初は立てること、それからリフト降り場で転ばないこと、次にバックターン、フロントターンと楽しさが広がる」などプロボーダーから発言。転倒を最小限にするスノボの教え方という話題になると、会場のスキー協スノーボード部長からも初心者指導の方法について報告された —

加藤:スキー場の楽しみ方はスキーに限らない。非日常空間としてのスキー場を考えていく。サロン化させていくことも必要。仲間と行く楽しさがある。

— 時間も終わりに近づき、楽しさを発信していくことの重要性とスノーアクティビティは最初が大切であることが確認された —

3. 新マテリアル紹介 — クレブスポーツ 桑原潤さん

ロッカースキーの簡単な歴史、メリット／デメリット、種類の説明があり、注目の3Dロッカースキーも紹介。はいたままハイクモードにできる山用ビンディングの紹介、ブーツの紹介になり、その特徴説明とともに多くの実物が紹介された。

4. 散会・徹底討論 未来に向けてスキー協のできること

2日目午前の分散会は、スキーとスノーボードに分かれて行われた。スキーの分散会では、各地方スキー協、クラブの現状、新しい取り組み、問題意識が報告された。キーワードは、「女性」「継続」「山ガール」「楽しさを教える」「手間をかける」「ジュニア世代」「若い人」「皆で一緒に全部やる」「決めたことはキッチリ実現」「どうすればできるか」「多様な取り組み」などなど。以下に具体的な発言を紹介する。(発言については、東京スキー協小川理事長の協力による原稿)

1) 運営委員の半分以上が中高年の「女性」

今の時代は男性よりも女性の方がアグレッシブ。日常的な様々なつながりを生かして会員拡大や行事に会員外の人を誘ってくる。それに引きずられて男性も会員になる傾向がある。

2) 学校のスキー教室が復活

小学校からのスキー教室への指導員派遣要請がだいぶ少なくなっていたが「スポーツ基本法」の制定により、また増えてきている。少ない人数になっても宣伝をし、継続していたことが力になっている。

3) 「山ガール」をターゲットに

自然志向の女性が増える傾向にある。スキー協主催の行事にもチラホラ増えはじめている。ファッショナブルなウェアに身を包み野山を闊歩する女性をゲットするためにスキー協もカッコ良くなる。最近の女性は見た目から入る。

4) 指導員がスキーの楽しさを教える

技術偏重にならずに「ゲレンデを楽しむ」事を中心に考えてカリキュラムを考えている。ゲレンデ巡りをしながらの「ワンポイントレッスン」や「ゲーム」をやりながらスキーに慣れたり、体の使い方を覚えるカリキュラムの工夫。

5) ひとつひとつの行事に手間をかける

マンネリにならないように心がけ、参加者が本当に楽しめるように工夫を凝らす。一般参加者は「一期一会」つまらなかつたら二度と行事に参加しない。

6) 無料の出前スキー教室を

ジュニア世代にスキーの楽しさを伝えることが大切。ジュニアスキー、子どもスキーは、多くのクラブで取り組まれていることが発言からうかがえた。

7) 自治体の広報誌に宣伝を掲載

社会福祉協力団体に登録して宣伝の幅を広げる。公共施設に登録できれば施設内にビラやチラシ、会報を置ける。

8) クラブ運営を「若い人」に任せてロートルは口を出さない

口を出すと「若い人」が育たない。クラブから離れていく傾向がある。

9) 会員のしたいことはクラブ員皆で一緒に全部やる

会員の要求を大切に作る風土をクラブ内につくる。クラブ員が「自分の居場所」をクラブ内に見つけられるようにする。会報を全員に配り「置き去り」にしない。

10) 約束は守る。決めたことはキッチリ実現。遅刻をしない

11) 「そんなの無理」「出来る訳ない」脳から「どうすればできるか」脳への切り替え

12) ウィークデースキークラブは二重加盟で OK

既存のクラブに加盟しながらウィークデークラブの平日行事にも参加。上手に関わることが GOOD。

13) 会報を定期的に発行。会員を沢山登場させる工夫

会員に記事や写真を依頼。参加できなかった会員にも楽しさが伝わる内容にする。

14) ホームページや Facebook を活用

楽しさが伝わる HP にするためには定期的な更新が重要。HP を見て入ってきた会員とは、きっちりつながりを作っていく。

— 参加者 38 人が発言した。それぞれに「苦労」「悩み」「工夫」「努力」「達成感」「喜び」などが語られた。このような内容を交流できることも、スキー協の強みだろう

5. スキーの歴史とスキー教程の変遷

2 日目午後、全国スキー協 技術教育局長の荻原正治さんの講義より

ノルウェーのレディエー洞窟の壁画や、18 世紀の軍隊、間宮林蔵の樺太探検にはじまり、現代までのスキーの歴史、用具の発展の歴史、そしてスキー協の教程の変遷について 2 時間たっぷり語った。

最初の重要人物はフリチョフ・ナンセン。「あらゆるスポーツの王者に値するスポーツがあるとすればそれはスキーをおいてほかにない。」で始まる「スキー賛歌」。日本では、レルヒ少佐の来日、スキー技術を民間に普及させた長岡外史、ハンネス・シュナイダーの来日(1930 年)が、まずあげられた。

技術面では 1938 年の発表されたエミール・アレの「フランススキー術」(ローテーション技術)。戦後の 1955 年の「オーストリアスキー教程」発表。「逆ひねり」「外向傾姿勢」が特徴で、フランスのローテーション技術との間で技術論争。そんななかスキーブームが到来。1956 年コルチナ・ダンベツツオで猪谷千春が回転競技で銀メダル獲得。金メダルは三冠王のトニー・ザイラー。

スキーブーム到来の中で「世界のスキーは一つ」という動き。1968 年の第 8 回インタースキーでは、フランスとオーストリアの歩み寄り。1974 年の抱え込み送り出し技術。1969 年には全国スキー協が結成された。70 年代のスーパースターとして、インゲマル・ステンマルクの活躍。

1983 年イタリアスキー教程。アンティ・ツイパツィオン(先行動作)は流行語となった。1987 年の第 13 回インタースキーでは「世界のスキーは一つ」が定着。90 年代、日本のノルディック複合の活躍などでスキーブームは続いたが、カービングスキーの登場と前後してブームは去って行った。そんな中、スキー協は 1994 年、2004 年と教程を発表し、2008 年にはフランス F S G T の代表も招いて「40 周年記念ウィーク」を開催するなど、元気に活動を続けた。

話は、用具の歴史と技術の変遷、スキー協の 4 つの教程へと進む。これらについては、指導員向けに発行している「スキーリーダー」紙面を借りて報告したい。



(報告・教育技術局 出崎福男)

第20回クラブ交流平和駅伝

誰でも、一人でも参加できます
応援也大歓迎です

東京都勤労者スキー協議会主催
東京スキー協駅伝実行委員会

大会実施要項

開催日：2012年10月28日（日）小雨決行
集合・受付 10:00
開会式 10:40
スタート 11:00
表彰式 13:30～

場所：都立狭山自然公園（多摩湖堤防を含む2.5km周回コース）

距離：20キロ

チーム編成のルール

- 1チーム「5km/1人×4人」を基本とします。最小3人～最大8人の範囲で、20kmを1人あたり2.5km、5km、10kmと距離を分け合うことも可能です。（小学生、中学生は、2.5kmとします）
- ※個人参加者も、当日混合チームに入って走ることができます。
- 男性、女性、ジュニア混合チームも可能です。女性にはタイムハンデがつきます。（ハンデ：5km走者は2分、2.5km走者は1分）

参加対象者

東京スキー協加盟クラブ、未加盟、スキー協会員登録者、未登録を問いません。
1人でも参加可能

参加費用：1人1000円（小、中学生500円）傷害保険加入

表彰：チーム1～3位（チームに表彰状、走者全員に賞品）

個人男女各1位～3位（対象5km走者。表彰状、賞品）

申込先：〒170-0013 豊島区東池袋2-39-2大住ビル401
東京都勤労者スキー協議会駅伝係
TEL03-3971-4144 FAX03-3971-4144
Eメール info@tokyoskikyo.org
実行委員長：石黒 健(090-2306-8312)

申込締め切り：10月25日（木）

実行委員を募集します



「都立狭山自然公園」アクセス

西武多摩湖線「西武遊園地駅南口」を出ると右にダム湖堤防が見えます
(集合場所まで徒歩約10分)

information

山スキー委員会より

白銀の世界にシュプールを描き、颯爽とすべる爽快感、
雄大な自然に溶け込む一体感。バックカントリースキーを、と考えている皆さんへ

山スキーのプラン、技術、用具、安全等についての交流の集いを企画しました。ぜひお集まりください。
バックカントリースキーへ大きなヒントを与えてくれるでしょう。東京スキー協山スキー委員会は、今シーズンも7回の山スキー教室を企画しています。ぜひご参加ください。

1) 山スキーの集い 11月9日(金) 午後7時～9時

会場：豊島区生活産業プラザ（8階多目的ホール）
東京都豊島区東池袋 1-20-15 (Tel 03-5992-7020)
最寄駅：池袋駅・東口下車徒歩約7分

※今回の通信にパンフレットを同封しています

2) 山スキーリーダー交流会・・ 10月19日(金) 午後7時～9時

場所：新日本連盟会議室
対象：東京、関東近県の山スキーリーダー、山スキー教室担当および協力者
討議事項：山スキー教室の取り組み／その他

3) 山スキー講座 11月18日(日) 午前10時～17時

会場：スキー協事務所予定

教育技術局／競技スキー委員会より

2012/2013 指導員研修一覧、 一部日程の変更、追加のお知らせ

8月に指導員に送付されたスキーリーダーについて、指導員研修一覧に変更があります。

変更 ○4月スプリングキャンプ 2013/4/20-21 → 2013/4/6-7

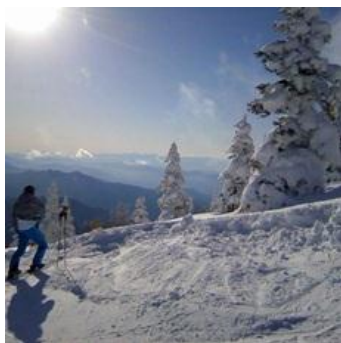
追加 ○草津担ぎ上げSLキャンプ 2013/5/25-26

(例年6月1週目の草津担ぎ上げが、1週繰り上がったものです。6月は行いません)

なお、9月22日のスキーセミナーで配布された一覧は訂正されたものですので、古いものと差し替えてご使用ください。

※指導員の応用扱いになりますが、一般の会員が参加できるものです。

○詳細を記載した年間スケジュールは次号の通信に掲載します。



10・11月のカレンダー

10月	東京スキー協	全国スキー協	11月	東京スキー協	全国スキー協
1日(月)			1日(木)	常任理事会	
2日(火)			2日(金)		
3日(水)			3日(土)		
4日(木)	常任理事会		4日(日)		
5日(金)			5日(月)		
6日(土)			6日(火)		
7日(日)			7日(水)		
8日(月)			8日(木)		
9日(火)			9日(金)	山スキーの集い	
10日(水)	組織局会議		10日(土)		全国理事会
11日(木)	教育技術局会議		11日(日)	○初・中級指導員 ペーパーテスト	〃
12日(金)			12日(月)		
13日(土)		上級指導員養成座学	13日(火)		
14日(日)	初中級指導員養成座学		14日(水)		
15日(月)			15日(木)	理事会	
16日(火)			16日(金)		
17日(水)			17日(土)	○指導員合格への 傾向と対策セミナー ○山スキー講座	
18日(木)			18日(日)		
19日(金)	山スキーリーダー交流会		19日(月)	編集会議	
20日(土)			20日(火)		
21日(日)			21日(水)		
22日(月)	編集会議		22日(木)		
23日(火)			23日(金)		
24日(水)			24日(土)		全国技術部会
25日(木)			25日(日)		〃
26日(金)			26日(月)	通信発行	
27日(土)			27日(火)		
28日(日)	クラブ交流平和駅伝		28日(水)		
29日(月)	通信発行		29日(木)		
30日(火)			30日(金)		
31日(水)					